

# 資金収支計算書（普通会計）

大阪市の1年間の資金（現金）の流れを性質別に3つに区分してまとめたものです。  
どのような活動に資金（現金）を支出し、どのように賄っているかがわかります。

**年度当初資金残高**  
(前年度からの繰越資金) **14億円**

※うち、翌年度繰越事業に必要な資金：10億円

## 経常的収支

経常的な行政活動から発生した収入及び支出を表したもの

<b>支 出</b>	<b>1兆1,307億円</b>
社会保障給付	4,969億円
人件費	2,432億円
その他(物件費等)	3,906億円
<b>収 入</b>	<b>1兆3,464億円</b>
地方税	6,361億円
国府補助金等	3,693億円
地方債発行額	902億円
その他(地方交付税、使用料等)	2,508億円
<b>経常的収支</b>	<b>2,157億円</b>
(②経常的収支	2,081億円)

## 投資・財務的収支

出資や貸付あるいは借入金の返済などの支出と、それらの財源としての貸付金の回収等の収入を表したもの

<b>支 出</b>	<b>4,848億円</b>
(貸付金、地方債償還額、基金積立額など)	
<b>収 入</b>	<b>2,962億円</b>
(貸付金回収、基金取崩額、地方債発行額など)	
<b>投資・財務的収支</b>	<b>△ 1,886億円</b>
(②投資・財務的収支	△ 1,633億円)

## 公共資産整備収支

大阪市や他団体の公共資産の整備にかかる支出と、それらの財源としての補助金や借入金等の収入を表したもの

<b>支 出</b>	<b>953億円</b>
(公共事業費など)	
<b>収 入</b>	<b>681億円</b>
(地方債発行額、国府補助金など)	
<b>公共資産整備収支</b>	<b>△ 272億円</b>
(②公共資産整備収支	△ 453億円)

**年度末資金残高**  
(翌年度への繰越資金) **13億円**

※うち、翌年度繰越事業に必要な資金：8億円

### 【ポイント】

昨年度と比較すると地方税の増等により、経常的収支と公共資産整備収支が257億円改善しています。その改善で、主に今後増嵩する公債費負担を抑制するため、減債基金に前倒しで積立を行いました。

年度末資金残の13億円から翌年度に繰越した事業に必要な資金を除くと5億円（実質収支）となっており、収支均衡が図られています。